

桐蔭横浜大学社会人大学講座

講師紹介及び講座内容記入用紙

テーマ 「科学的医療と非科学的医療」

日時 2006年11月11日

講師	顔写真	岸 鉄三
1. 氏名		し てつぞう 岸 鉄三
2. 生年		生 年： 1 9 3 4 年 生
3. 最学位		北海道大学医学部医学科大学院（外科系）博士課程終了
4. 専門分野		外科・医工学
5. 略歴		1981年 東京女子医科大学教授 1997年 東京女子医科大学腎臓病総合医療センター所長 2000年 東京女子医科大学名誉教授
6. 現職		2000年から板橋中央総合病院血液浄化療法センター所長 2006年から桐蔭横浜大学客員教授
7. 著書		（著書名及び出版社） 阿岸鉄三編著：血漿浄化療法。医学書院、1996年 阿岸鉄三編著：実用血液浄化療法。秀潤社、1999年 阿岸鉄三編著：統合医療。ロータス企画、2005年

講座内容（600字程度）

現在実施されている通常医療は、近代科学に基礎をおくもの、すなわち一般的には科学的医療と考えられている。わが国においては、厚生労働省によって適用が選定されている医療保険により限定、そして保護されてきた。ところが、20世紀末になって、人工臓器・移植から遺伝子治療までが臨床的に応用できる段階になって、生命・死とのかかわり方が従来とは異なる接面で行われるようになり、いわゆる医療における倫理問題が重要視されるに至った。そこでは、ときに医療の科学技術至上主義が批判される場面もみられるようになった。同じころから、レトロスペクティブにみると科学技術至上思想に対する対抗思想に基づくと考えられる、補完・代替・伝統医療が世界的に関心を浴びるようになり、さらに近年ではそれらをすべて含み込む統合医療が21世紀の医療となると期待されている。補完・代替・伝統医療は、霊性・宗教にまで視野が拡がり、時に、科学的に実証、あるいは理解することが困難であり、その意味では非科学的医療である。しかし、状況によっては科学的医療より強力な効果を発する。例えば、外気功は、普通、術者が患者に手かざしをすると、患者に肉体的・精神的な反応が起こることを医療に応用するものである。効果発現は、現実のものであるが、その機序は全く不明であり、非科学的である。それでは、科学的であることに絶対的な意味があるかとなると、現代では広い分野において科学的であることの絶対性が崩れつつある。そこで、科学的、非科学的の実態についても考えてみたい。